

派遣先(年度)	ボン研究連絡センター (2002 年度)
現在の業務内容	課の業務総括補助
研修中の業務内容/研修後、業務にどのように活かされているか	<p>ガクシン (学振) って何? そのような状況から始まった国内研修では、研究交流事業の枠組み、英文メールやレター作成のイロハを学ぶとともに、ボン研究連絡センターでは、会計事務を担当する他、学術イベントの運営や所属大学のプレゼンを行ったりする等、貴重な経験を積むことができました。また、現地での生活を通じて文化・慣習等の違いを体験できたことは、国際交流を行う上での糧となっています。</p> <p>帰国後は、大学本部にて JSPS や文科省の国際事業を担当することになり、研修で得られた知識や経験を活かすとともに、培った人脈にも助けられました。更に、同センターで副センター長として勤務する機会も得られ、事務所をマネジメントし、責任ある立場で海外との学術交流に携わったことは、大きな自信になっています。</p> <p>その後、留学生交流や大学間協定等、国際業務経験を幅広く重ね、現在のポジションにいますが、この研修によって自分のキャリアの土台が形成されたと思います。</p>